

高校生医療体験セミナー終了!!

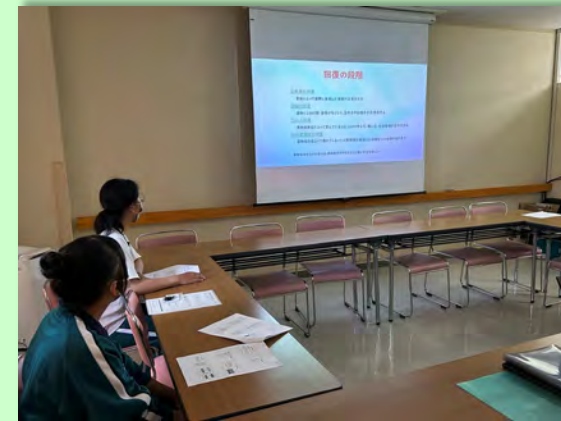
今年も広島県地域医療支援センターが主催する『高校生医療体験セミナー』を7月、8月で合計4回開催しました。

朝来られた時の緊張した面持ちと帰られる時のはじける笑顔。
その雰囲気の変化がとても印象的でした。



(体験アンケートより抜粋)

私はまだ将来これになりたい！という明確な目標が見つかっていないので、自分の将来の選択肢を増やすためにこの医療体験セミナーに参加することを決めました。デイケア体験が一番楽しかったです。医療系の道へ進みたいと考えていましたが、医師、看護師以外の仕事を見る機会はなかなかないので今回の体験は非常にためになったと感じます。作業療法士や心理士といった人に寄り添う職業はとても素晴らしいと感じました。セミナーを通して今までの自分の価値観を見直すことができました。例えば依存症について。(中略)正しい知識を身につけ、自分の身は自分でしっかりと守れるようになりたいです。今回のセミナーとても楽しかったです。精神科といえばカギがたくさんついていて暗くて怖いイメージだったのですが、想像の何倍も先生もデイケアに来ている方も明るく優しい方ばかりでした。今回自分で体験して身につけたこと、感じたことは今後ずっと自分の武器になると思います。



地域医療の現状や精神科について具体的に知っておらず少し緊張していたが、とても明るく気さくなスタッフさん達で私もこういう医療従事者になりたいと思いました！最も印象に残ったのは、薬物依存者の7割が青少年だという事実です。知識が少ない若者が依存しやすいんだなと分かりました。更に地域連携が十分に行き届いていない現状やデイケアの現場も拝見できて、とても貴重な体験をありがとうございました。



将来は医療の中でも患者さんなどと密接に関わる仕事に就きたいと考えていて実際に見て体験をして将来像を明確にしたかった。デイケアで患者さんと実際に会話できてよかったです。(依存症の)学習会を通して、前より深く依存症のことについて理解し考えることができました。将来は患者さんの行動の裏にある本音に気づき、心を診て優しく寄り添うことができる仕事に就けるようこれからもっと頑張りたいです。



自分は思っているよりも患者さんと話すことが好きなんだと実感した。患者さんと交流できるとは思っていなかったから、充実していてとても楽しかった。自分が“人と関わるのが楽しいと感じる”ということが分かって、今後進路を決定するにあたってのすごく価値のある経験だった。